

# 土人水

## 総合的な学習

### 米づくりマラソン

市内小学校の平成一七年度における総合的な学習に関し、前年度に引き続き「米づくりマラソン」へのお手伝いをしました。

この「米づくりマラソン」は、平成十五年度に、大町西小四年生が企画した「御所川・北原堰探検隊」で、



大町西小5年生の田植え

用水の大切さを学習したことをきっかけに、平成十六年度から市内の小学校に呼びかけ行っているものです。

平成十七年度では、大町西小学校五年生二クラスの生徒（吉沢一夫先生、西澤美芳先生）の六十八名が、自分達で種蒔きし、植えて育てた稲を、収穫するまでの体験活動に協力しました。

体験を通し、感じたことや学んだ成果を発表する学習発表会では、生徒達が作った餅米料理に舌鼓を打ちながら、貴重な体験をした喜びと、達成感で、きらきらと輝く生徒の表情を見ることができました。

教室で学ぶ学習と違い、外に出て学習することで、水や土や人の心までも身体全体で感じる事ができ、こうした事と実際に感じた事との間に大きな違いがあることに気づく。そして、水や動植物や農業が深く関係していることにも気づき、水の大切さを理解してもらえらる場になるよう、今後も取り組んでいきます。

大町市大町3887番地  
大町市土地改良区  
越荒沢堰水系地域用水対策協議会  
TEL 0261(22)5542  
FAX0261(23)0766

## 21世紀土地改良区 創造運動関東地方大賞受賞

水土里ネットおまちは、昨年度の21世紀土地改良区創造運動関東地方大賞に選ばれ、「水土里ネット」の「高野和頼専務理事から、中牧理事長に賞状と記念の楯が贈られました。

この賞は、平成十五年度から全国水土里ネットが主催して行っているもので、関東一都九県の中から選ばれたものです。当協議会が中心となり、平成十年度より進めてきた様々な企画を通じて、地域用水の大切さについて地域住民の理解を深める取り組みが、関東管内の模範となる運動と評価されたものです。この受賞を励みに、今後も引き続き創造運動の推進に積極的に取り組んで参ります。



表彰を受ける中牧理事長

## 県営農業用水再編対策 事業の状況

漏水による用水不足を解消し、地域生活用水の安定供給を行うために始まった県営農業用水再編対策事業は、最終年度となる平成十七年度では、越荒沢堰の主要な分岐点に水門五基を設置しました。

この水門により、各用水路に適正な配水を行い、一定の水量を流下させることで、防火用水、生活雑排水の希釈水、流雪用水などの地域用水機能が充分発揮されます。

中でも、北荒沢堰から、森堰・中荒沢堰を分水する地点には、大雨等により急激に増水した際には、自動的に分水を断水する転倒ゲートが新たに設置され、今後は安全かつ安定した水供給が行われるようになりました。



完成したチェックゲート



# 植樹と 記念観察会

昨年五月二十五日、平猫鼻の小熊山市有林において、北安曇地方事務所林務課の主催で大北地区植樹祭が行われました。次世代を担う子供達と地域の人々が協働し、緑豊かな郷土づくりに寄与することを目的に行われたものです。

森林は内部にたくさん隙間を持つているので、降った水を吸収し蓄えたり、晴天が続けば蓄えられた水を徐々に流し渴水を緩和したり、木の根がリンや窒素等の成分を吸収して浄化するなど、水源涵養機能があります。そこで、水土里ネットおおまちでもこのイベントに参加し、森林の保全活動への協力を行いました。

当日は、緑の少年団や一般参加者など約五百名近くが参加し、ナナカマド、ナラ、ブナ、トチノキなどの広葉樹約五百本を植えました。参加した子供は、「私達が植えた木が大きく育つのが楽しみ」と、作業の疲れも見せず、満足げな表情で話してくれました。

また、午後は大町市専門委員の宮田渡先生や白馬村に在住の自然観察インストラクターの藤井さんを講師にお招きし、周辺に自生している植物の自然観察会を行いました。



大北地区植樹祭

## 越荒沢堰

### 親水広場完成

自由解放

イベントなどにご利用下さい

長野県による越荒沢堰の漏水対策工事が完成し、改修された区間ではそれまで四割近く漏水していた貴重な水が、有効に利用されるようになりました。また、併せて自然に溶け込む親水空間が生まれ、改修前は昼間でも薄暗く、鬱蒼とした林の中を流れ、ほとんど人目に触れることもなく、散策など考えもしなかった空間が、森林浴をしながら散歩するのには絶好の場所に生まれ変わりました。

さらに、毎年八月に開催されている、ふれあいイベント「土・人・水」

で、多くの皆様から手を加えて頂いている親水公園周辺に、四阿(あずまや)が完成しました。

各自治会のイベント等にご利用下さい。親水広場周辺を散策しながら用水路の歴史などを知ることできます。そんな中から、用水の大切さを再認識し、これからも大事にしようと言う理解が深まれば幸いです。

### 利用に当たって

事前申し込みは必要有りませんが、ゴミの持ち帰りを徹底して下さい。利用する前よりきれいに心をかけて

また、用水路には深みもありますので、水難事故には十分な注意をお願いします



親水公園の四阿(あずまや)

## 平成17年度事業報告

項目	内容	事業費
地域用水機能増進計画策定	・水路台帳調査 ・事業概要図作成	1,281,000
地域用水機能増進支援活動	・協議会開催	854,700
地域用水機能増進活動	・イベント開催 ・子ども絵画展	1,012,200
情報整備施設整備	・水位監視装置 ・簡易ゲート設置	3,992,100
合計		7,140,000

## 定例総会開催と 絵画展表彰

越荒沢堰水系地域用水対策協議会は三月二十四日、大町市役所西会議室で定例総会を開き、平成十七年度事業報告や、平成十八年度の事業計画などを審議し、いずれも原案どおり決定しました。

当日は委員十七名が出席して、中牧副会長の開会の言葉により始まりました。議事に先立ち、平成十七年度子ども絵画展の表彰式を行い、受賞者へ腰原会長より表彰状と記念品が贈呈されました。

今回の絵画展には、大町西小五年生六十八名による共同作品十四点と、六年生の三十点の応募がありました。いずれも力作ぞろいでした。



# 越荒沢雑感

この絵図は、今から三百年ほど昔、源汲、二ツ屋など上流村と借馬や大町、野口など下流村が、水利権や村境を争ったときに、江戸幕府が下した判決書の一部です。

これによれば、現在の西原、大原、新郷などは、広大な松林や原野になっていて、その間を鹿島川から引いた幾筋もの水路が、流下していました。こうした水路は、元々、鹿島川から自然に流れ出していた川筋を整備したもので、清浄な流水は飲料水としても貴重でしたが、その確保のためには、毎年、多くの労力がつぎ込まれていました。



堰、法蔵寺堰などの元になったいくつかの水路が流れており、最も集中している村の入り口付近には、産土神（鎮守神）として「神明宮」が祭られていました。今は「金山様」になつていますが、いつの頃からか、祭神が変わつたものと思われまふ。こうした水路が流れ込んでくる場所は、水の恵みに近いというメリットの一方で、大雨などによる災害を最も受けやすい危険と裏腹の関係にありましたから、昔の人々は、水の恵みに感謝しつつも、水害除けを願つて鎮守の神様を祭つたのです。



**第7回ふれあいイベント「土・人・水」**  
参加者募集！！

- ◆日時：8月19日(土) AM9:30～12:00
- ◆会場：平小熊原 猫鼻親水池
- ◆内容：周辺の雑草取りとイワナつかみ捕り
- ◆昼食：おにぎりとお茶を用意します

参加申し込みは下記まで  
大町市土地改良区 22-5542  
E-mail midori-net.omachi@ceres.ocn.ne.jp

## 「ふるやの田んぼと水」 いづも絵画展

昨年、全国水土里ネットで募集した、子ども絵画展における地域団体賞（地域用水優秀賞）及び、当協議会で選考し受賞した方々は次のとおりです。なお、受賞作品は4ページに掲載してあります。（敬称略）

★全国水土里ネット

◆地域用水優秀賞

「もうちよつとでかれるぞ」

大町西小六年 片桐恭葉

★越荒沢堰水系地域用水対策協議会

◆会長賞

「みんなまっくろ」

大町西小五年

柴田なつみ、福島愛美

藤澤泉美、大崎佑記

荒井都萌、森下美保

◆理事長賞

「田植えに挑戦する仲間たち」

大町西小五年

太田秀和、曾根原涉

吉原美月、宮沢茉奈

横川裕也

◆努力賞

「ドロンコボーイズ」

大町西小五年

佐藤マサキ、内山晃

◆努力賞

「どろだらけになった田植え」

大町西小五年

戸谷文花、宮崎ことは

小日向郁恵、北原奈々

船山さとみ、杉山優衣

◆努力賞

「ていねいに植えよつ」

大町西小五年

酒井優衣、北原涼輔

鎌倉未奈、川上展生

松井智也



# 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2005受賞作品

## 全国水土里ネット



### ★地域用水優秀賞★

もうちょっとでかれるぞ  
片桐恭葉 (大町西小6年3組)

## 越荒沢堰水系地域用水対策協議会

### ★理事長賞★



みんなまっくろ

### ★会長賞★



田植えに挑戦する仲間たち

### ★努力賞★



ドロンコボーイズ

### ★努力賞★



泥だらけになった田植え

### ★努力賞★



ていねいに植えよう